

### 3 家庭生活や地域活動について

#### (1) 《理想》家庭内での男女の関わり方

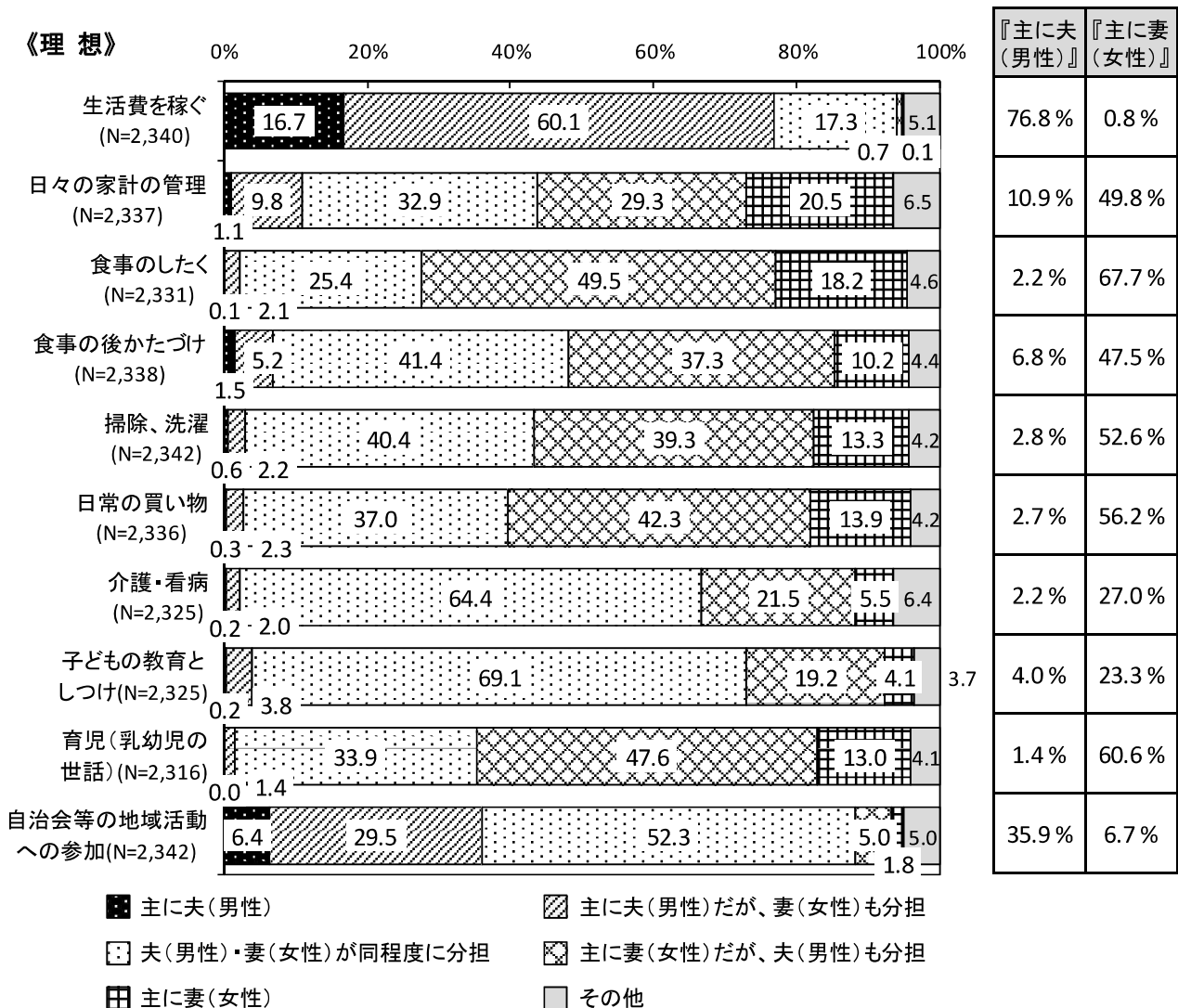
問15 次の(1)～(10)のことについて、配偶者(パートナー)とどのように分担するのがよいと思われますか。それぞれの項目について番号を1つずつ選んでください。現に配偶者(パートナー)がいない方は、いる場合を想定してお答えください。

- 《理想》としては、【生活費を稼ぐ】は『主に夫(男性)』の役割と考える人が約8割、家事や育児は『主に妻(女性)』の役割と考える人が多い

家庭内の男女の関わり方《理想》について、『主に夫(男性)』(「主に夫(男性)」と「主に夫(男性)だが、妻(女性)も分担」の合計)の役割と考える割合が最も高い項目は、【生活費を稼ぐ】で76.8%となっている。

一方、『主に妻(女性)』(「主に妻(女性)」と「主に妻(女性)だが、夫(男性)も分担」の合計)の役割と考える割合が最も高い項目は、【食事のしたく】で67.7%となっている。

また、「夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担」では、【子どもの教育としつけ】の69.1%が最も多くなっている。



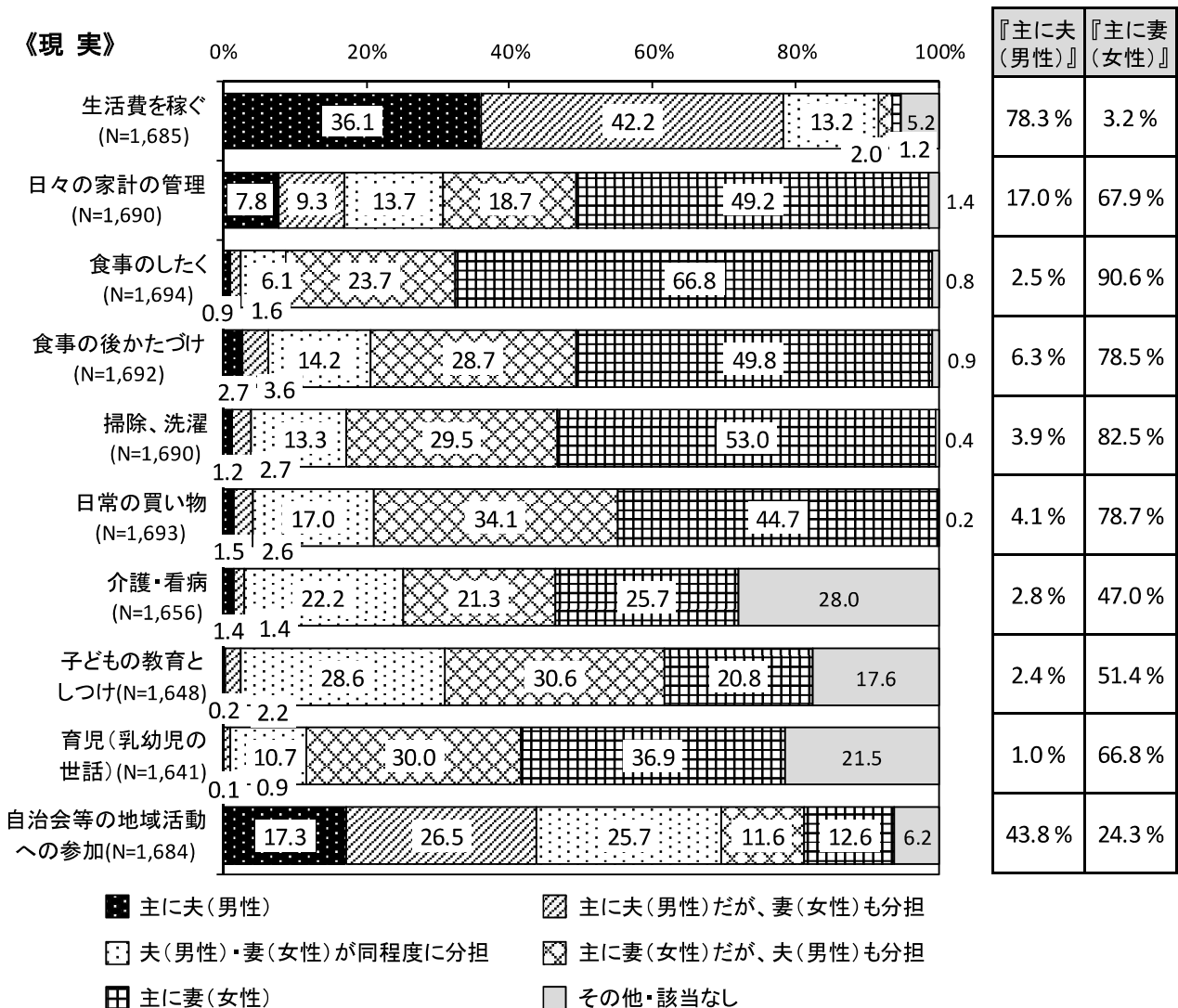
**(2) 《現実》家庭内での男女の関わり方（配偶者・パートナーがいる方のみ）**

問16 次の(1)～(10)のことについて、実際にあなたは配偶者（パートナー）と日常の家事等をどのように分担していますか。それぞれの項目について番号を1つずつ選んでください。

●《現実》としては、【生活費を稼ぐ】は『主に夫（男性）』が分担、【食事のしたく】や【育児】などの家事・育児は『主に妻（女性）』が分担している人が多い

家庭内の男女の関わり方《現実》について、『主に夫（男性）』が分担している割合が高い項目は、【生活費を稼ぐ】（78.3%）、【自治会等の地域活動】（43.8%）となっている。

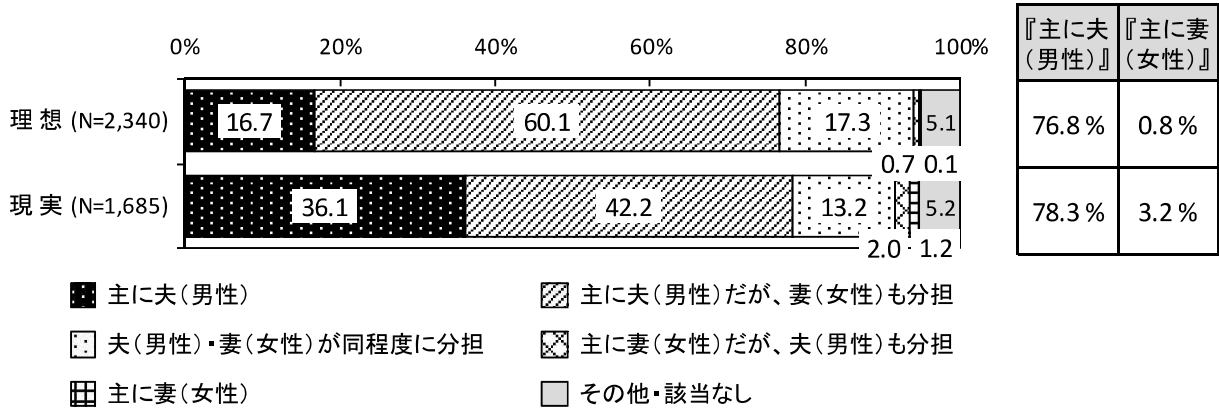
一方、『主に妻（女性）』が分担している割合が高い項目は、【食事のしたく】、【掃除・洗濯】、【日常の買い物】、【食事の後かたづけ】、【育児】などの家事や育児であり、特に【食事のしたく】については90.6%もの人が『主に妻（女性）』となっている。



**(3) 家庭内での男女の関わり方 《理想》と《現実》(配偶者・パートナーがいる方のみ)**

**①生活費を稼ぐ**

《理想》と《現実》の差をみると、『主に夫(男性)』の割合については、大きな差はないが、「主に夫(男性)」の割合は《理想》では16.7%であるのに対し、《現実》では36.1%となっており、その差が19.5ポイントと大きい。



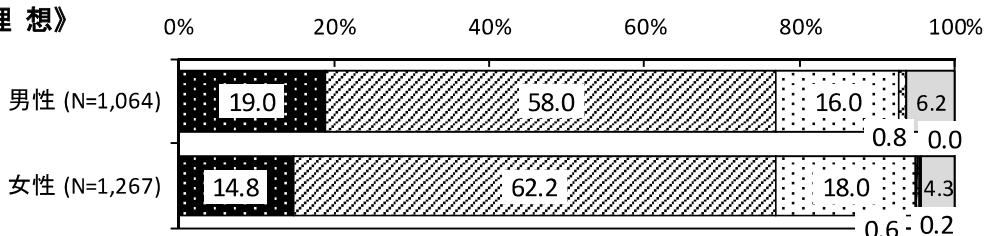
※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

【性別】（生活費を稼ぐ）

《理想》では、男性・女性とも『主に夫（男性）』の役割と考える割合が77.0%となっている。

《現実》では、男性において『主に夫（男性）』が分担している割合が79.0%であり、女性の77.9%とほぼ同様となっている。

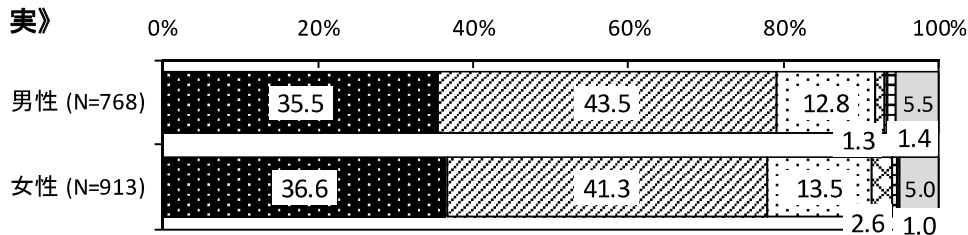
《理想》



- 主に夫(男性)
- ▨ 主に夫(男性)だが、妻(女性)も分担
- ▤ 夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担
- ▧ 主に妻(女性)だが、夫(男性)も分担
- ▩ 主に妻(女性)
- その他

『主に夫 (男性)』	『主に妻 (女性)』
77.0%	0.8%
77.0%	0.8%

《現実》



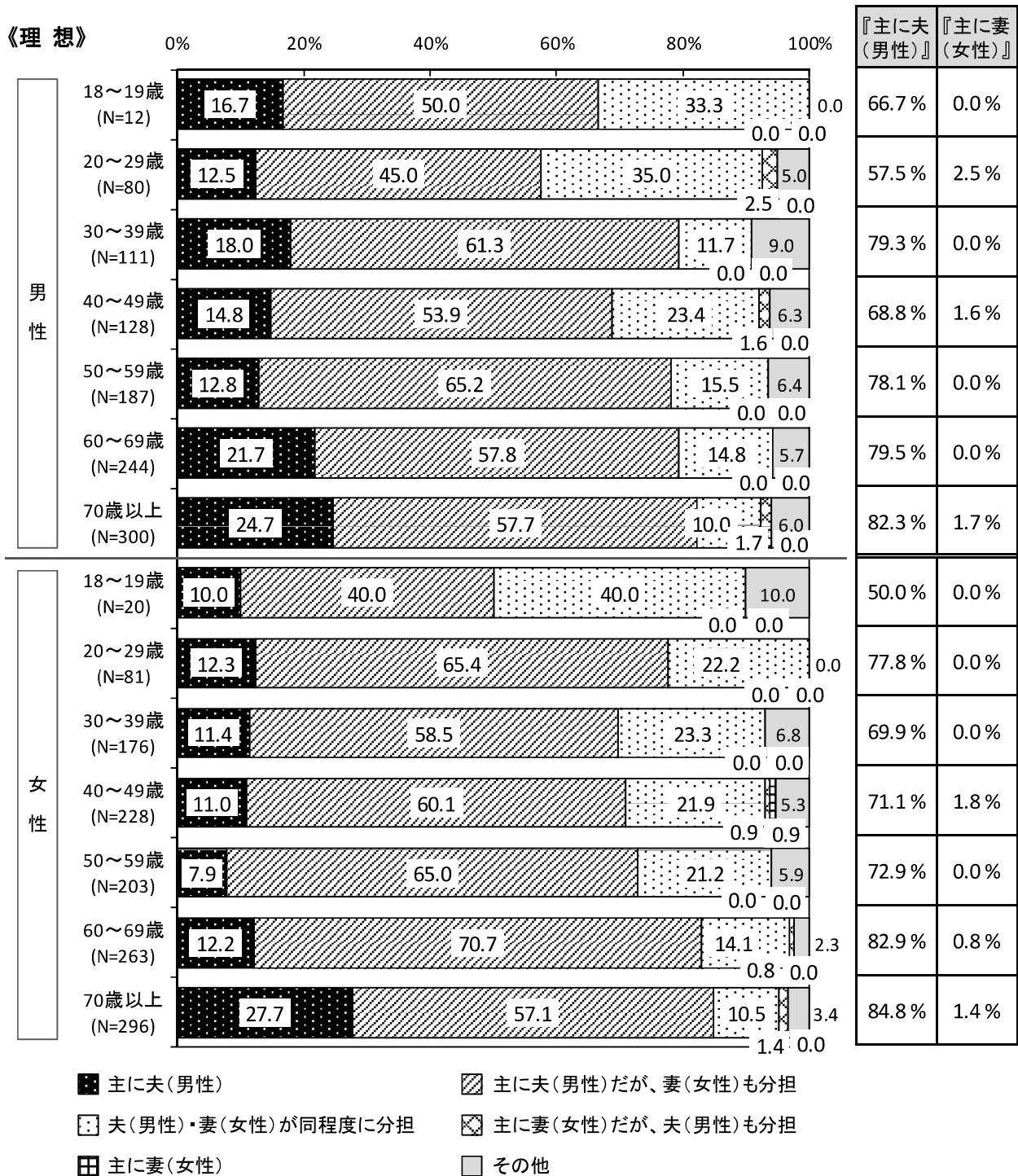
- 主に夫(男性)
- ▨ 主に夫(男性)だが、妻(女性)も分担
- ▤ 夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担
- ▧ 主に妻(女性)だが、夫(男性)も分担
- ▩ 主に妻(女性)
- その他・該当なし

『主に夫 (男性)』	『主に妻 (女性)』
79.0%	2.7%
77.9%	3.6%

【性・年代別】（生活費を稼ぐ）

《理想》では、男性において『主に夫（男性）』の役割と考える割合は、70歳以上、60～69歳、30～39歳、50～59歳の順で高く、いずれも80%前後となっている。30～39歳を除き、年代が高くなるほど『主に夫（男性）』の役割と考える割合が高くなる傾向がみられる。

女性において『主に夫（男性）』の役割と考える割合は、60歳以上で80%以上を超えている。男性と同じく年代が高くなるほど、『主に夫（男性）』の役割と考える割合が高くなる傾向がみられる。



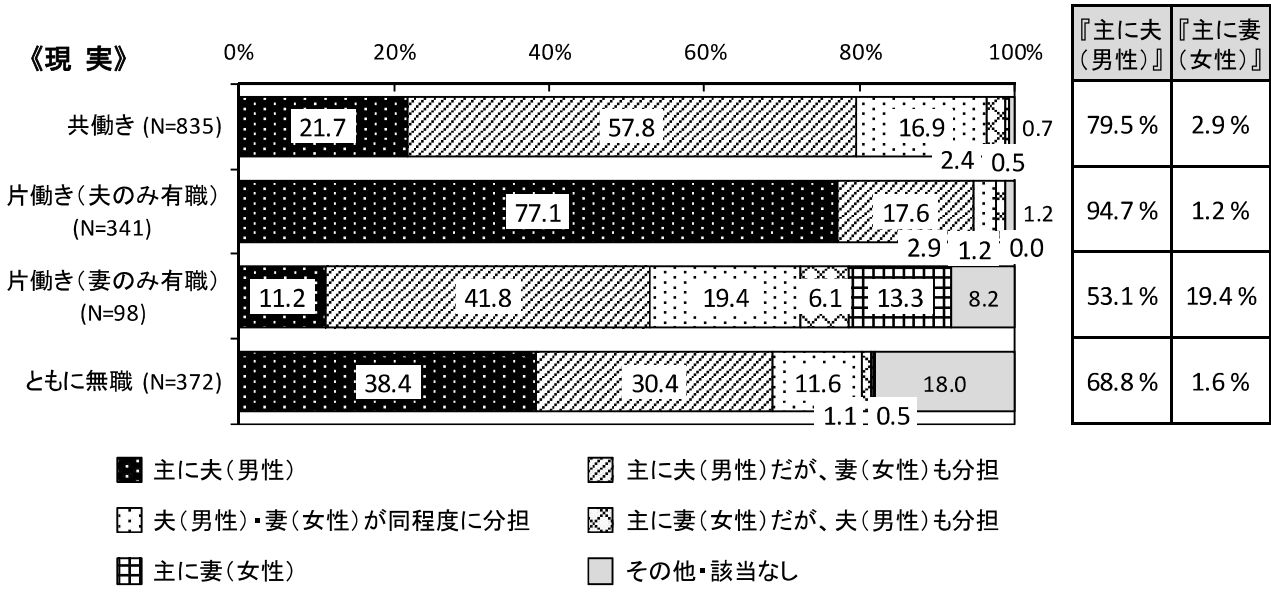
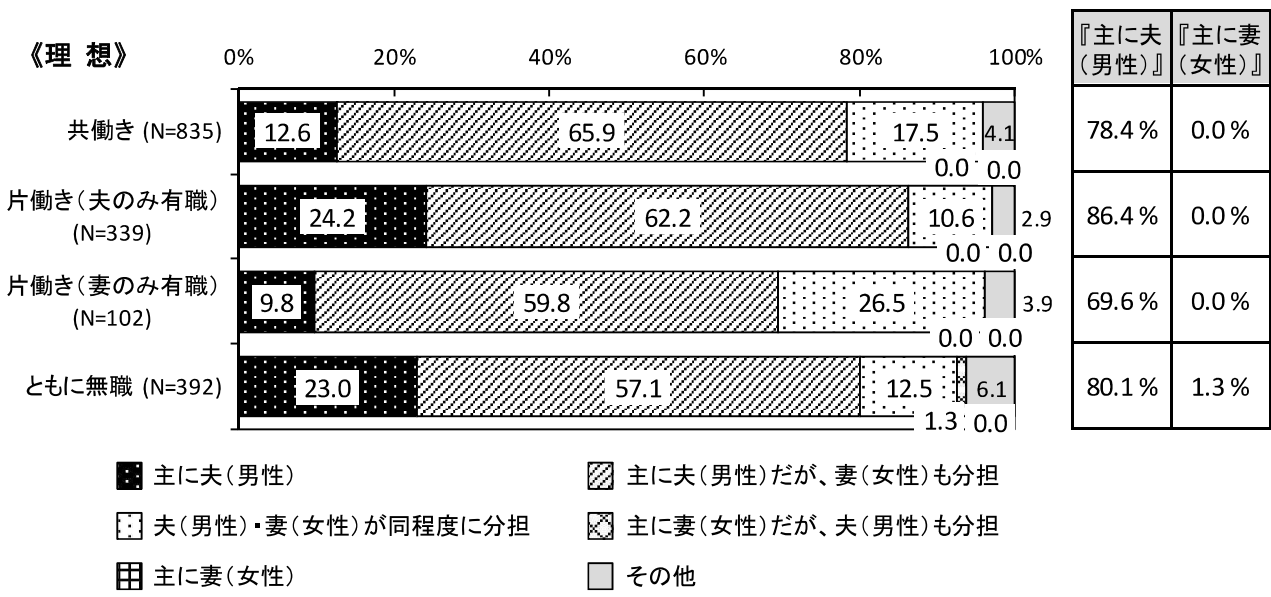


【片働き・共働き別】（生活費を稼ぐ）

《理想》では、片働き（妻のみ有職）（69.6%）を除き『主に夫（男性）』の役割と考える割合が8割前後を占めている。また、片働き（妻のみ有職）の場合でも『主に夫（男性）』が約7割と多くなっている。

《現実》では、片働き（夫のみ有職）は『主に夫（男性）』が分担している割合が9割以上、共働きでも約8割を占めている。また、片働き（妻のみ有職）の場合でも『主に妻（女性）』は2割足らずとなっている。

片働き（夫のみ有職）は、「主に夫（男性）だが、妻（女性）も分担」の割合が《理想》と比べて《現実》の方が44.6ポイント低く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。



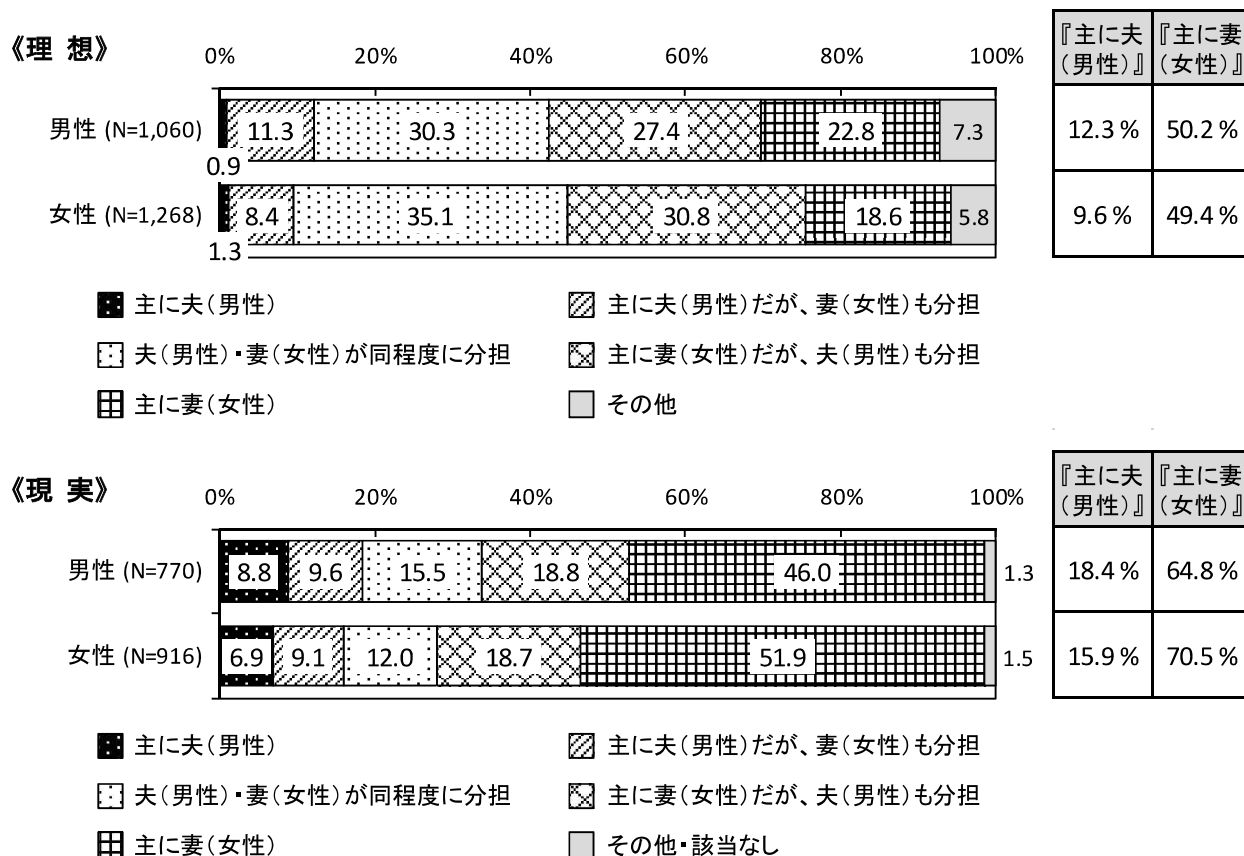




【性別】（日々の家計の管理）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合が50.2%であり、女性の49.4%とほぼ同様となっている

《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合が64.8%であり、女性の70.5%と比べて5.7ポイント低くなっている。





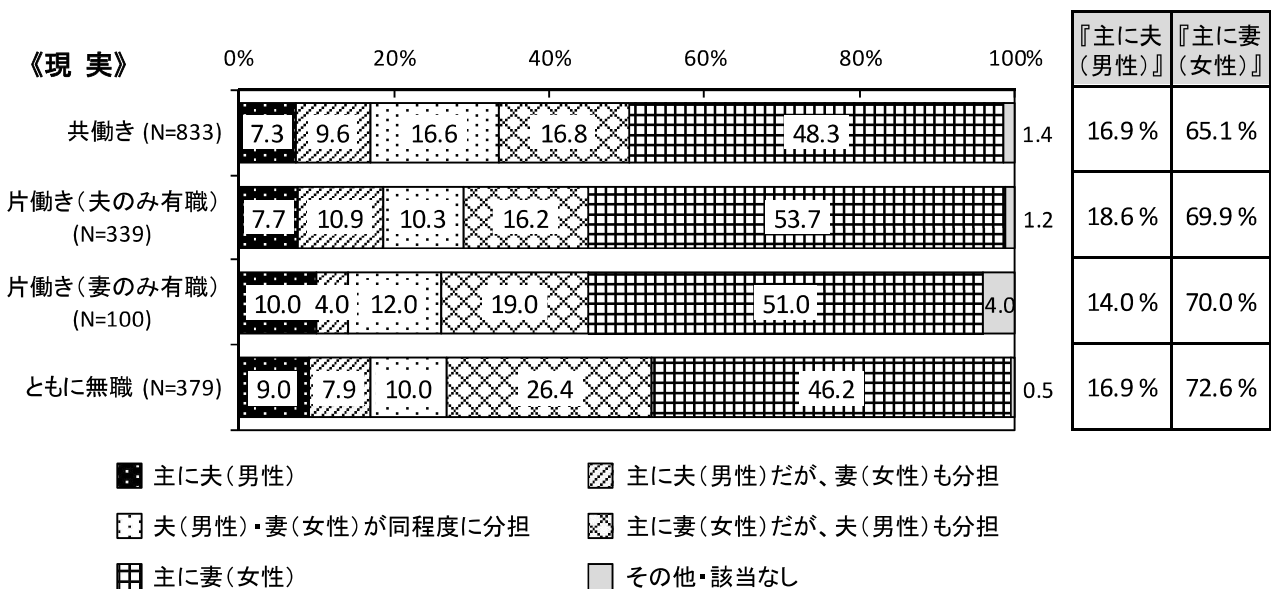
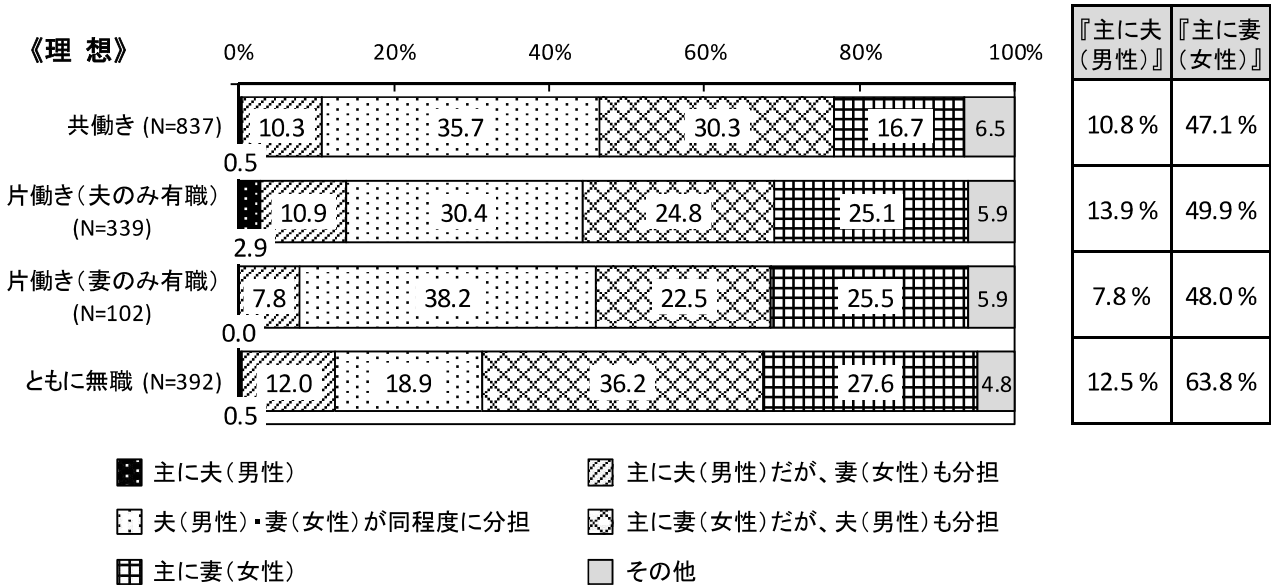


【片働き・共働き別】（日々の家計の管理）

《理想》では、ともに無職は『主に妻（女性）』の役割と考える割合が6割強だが、他の働き方では5割弱となっている。共働き・片働きでは「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」が3割超を占めている。

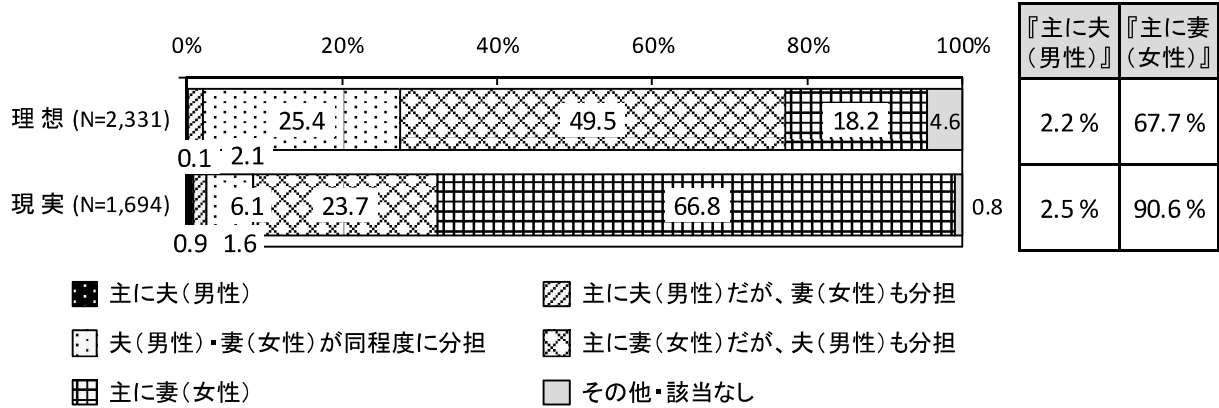
《現実》では、働き方の違いによる目立った傾向はみられず、いずれも『主に妻（女性）』が分担している割合が7割前後となっている。

共働き・片働きにおいては、《理想》では「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」の割合が3割超を占めているのに対し、《現実》では1割台にとどまっている。



### ③ 食事のしたく

《理想》と《現実》の差をみると、「主に妻（女性）」の割合は《理想》では18.2%であるのに対し、《現実》では66.8%となっており、その差が48.6ポイントと非常に大きく、『主に妻（女性）』の割合は《現実》（90.6%）が《理想》（67.7%）を22.8ポイント上回っている。



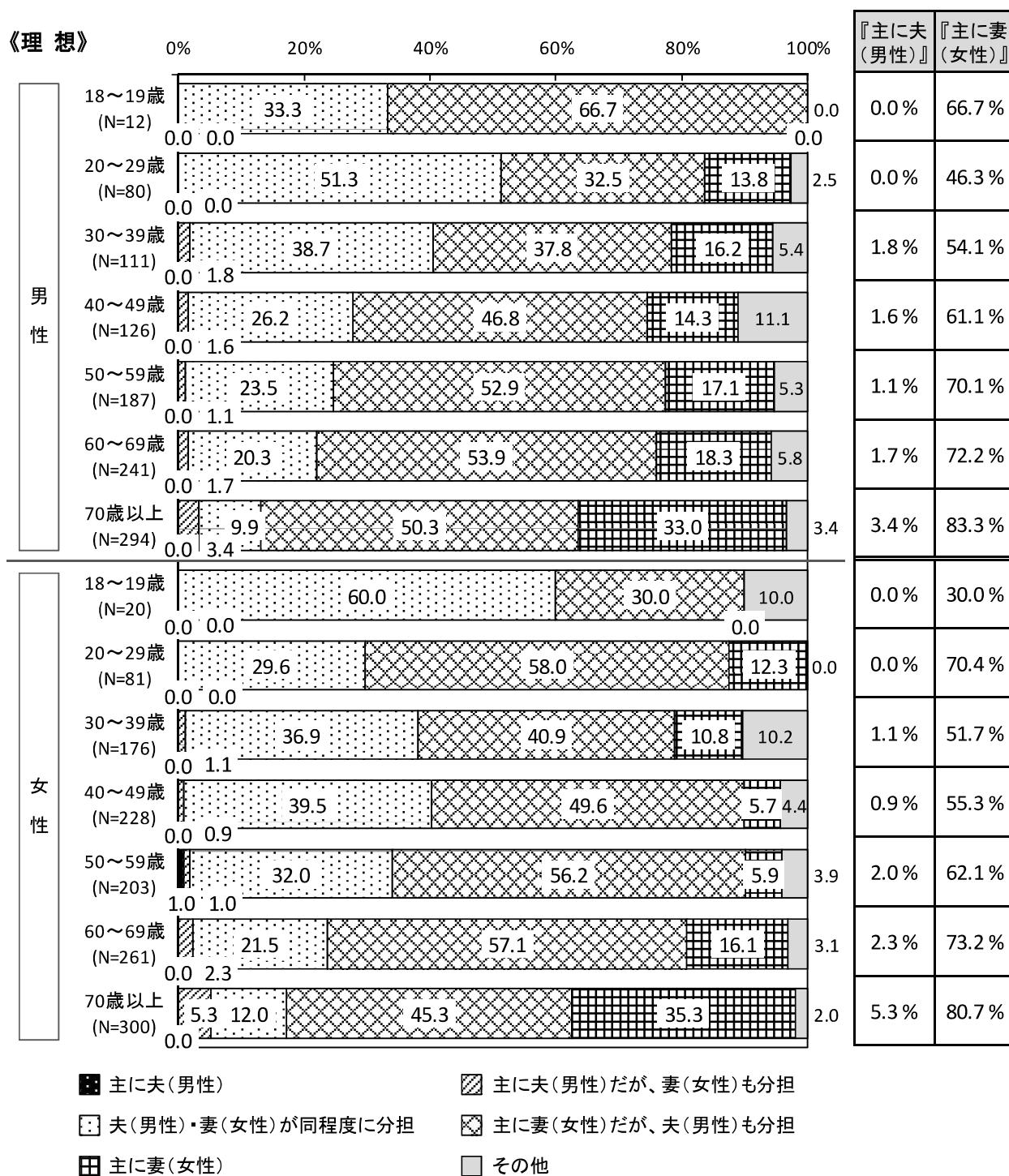
※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ



【性・年代別】（食事のしたく）

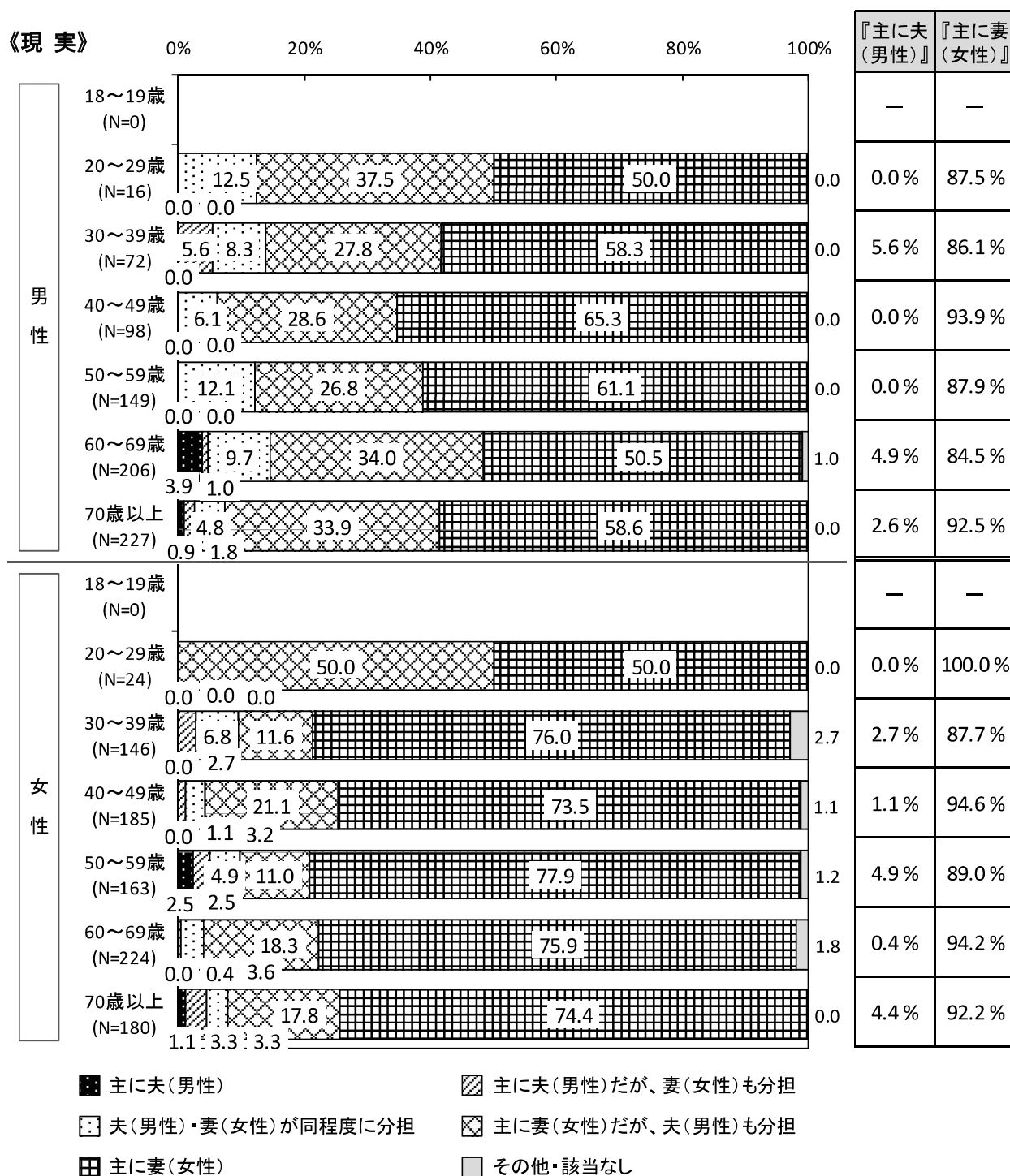
《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の83.3%が最も高くなっている。18～19歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。

女性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の80.7%が最も高くなっている。20～29歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。



《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、40～49歳（93.9%）と70歳以上（92.5%）で高くなっているが、年代による特徴的な傾向はみられない。

女性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、20～29歳（100.0%）、40～49歳（94.6%）、60～69歳（94.2%）、70歳以上（92.2%）で90%以上と高くなっているが、年代による特徴的な傾向はみられない。



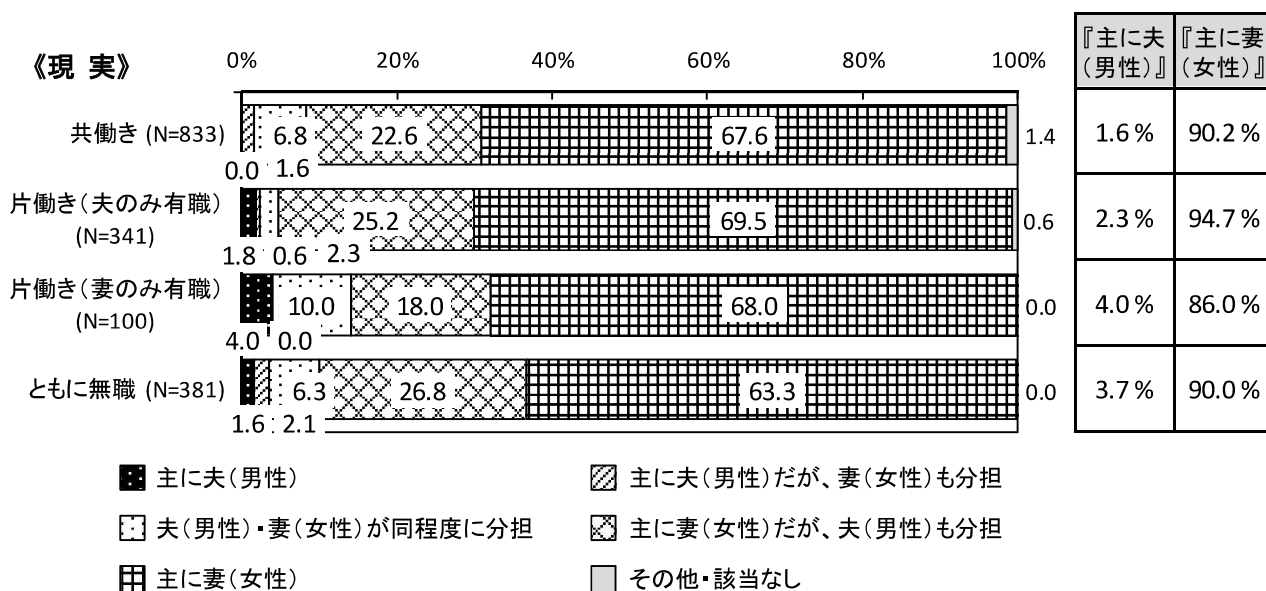
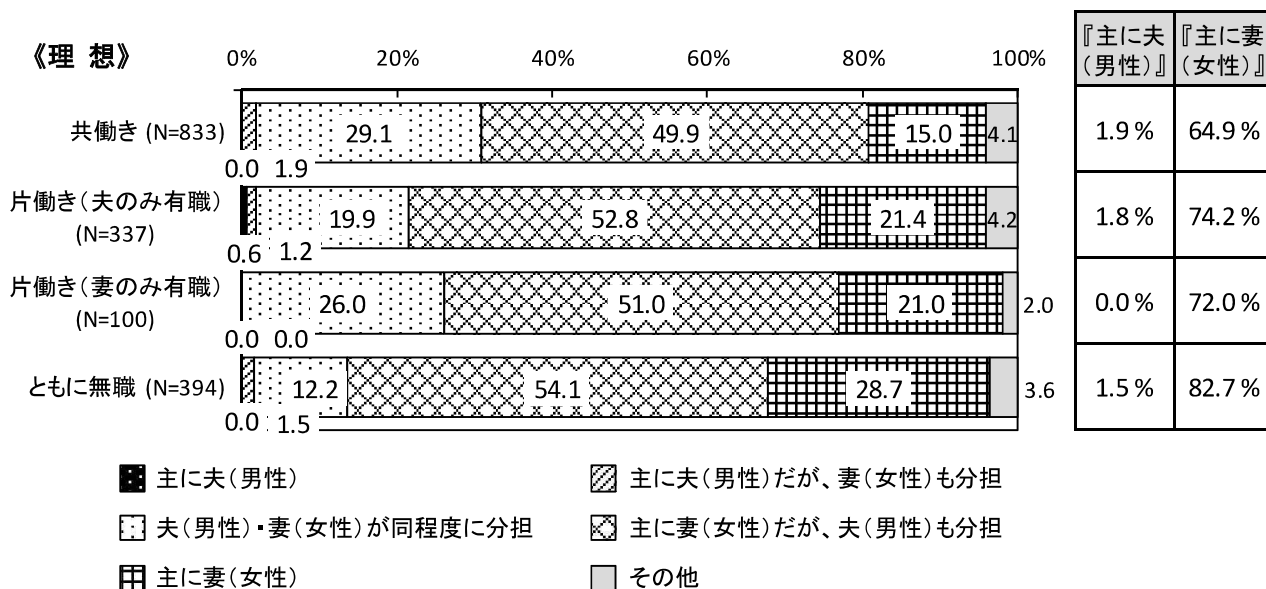


### 【片働き・共働き別】（食事のしたく）

《理想》では、『主に妻（女性）』の割合が片働きでは7割強、ともに無職では8割強を占めている。一方、共働きは6割台となっており、他の働き方よりもその割合がやや低い。

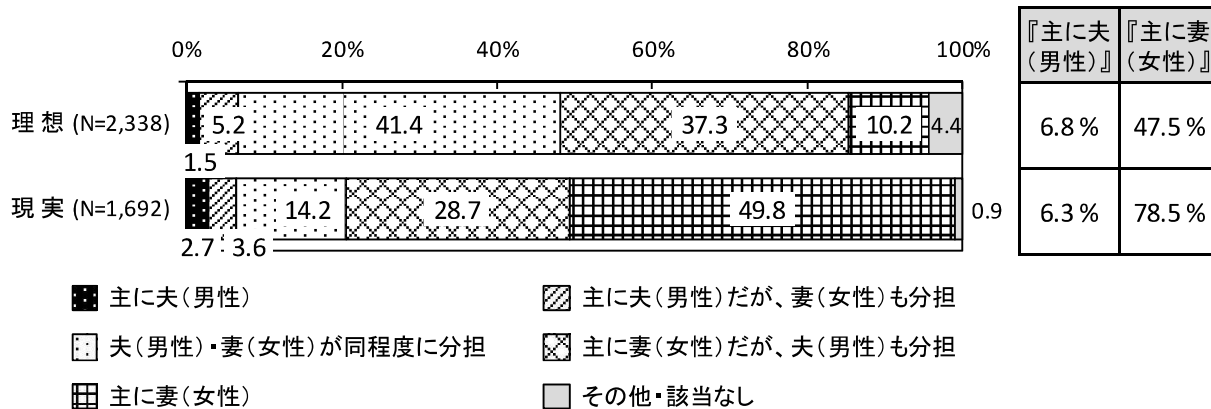
《現実》では、片働き（妻のみ有職）（86.0%）を除き『主に妻（女性）』が分担している割合が9割以上を占めており、特に、共働きにおいては『主に夫（男性）』が分担している割合は1.6%にとどまっている。

共働きと片働き（夫のみ有職）においては、『主に妻（女性）』の割合が《理想》と比べて《現実》の方が20ポイント以上高く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。



#### ④食事後かたづけ

《理想》と《現実》の差をみると、「主に妻（女性）」の割合は《理想》では10.2%であるのに対し、《現実》では49.8%となっており、その差が39.5ポイントと大きく、『主に妻（女性）』の割合は《現実》（78.5%）が《理想》（47.5%）を31.0ポイント上回っている。

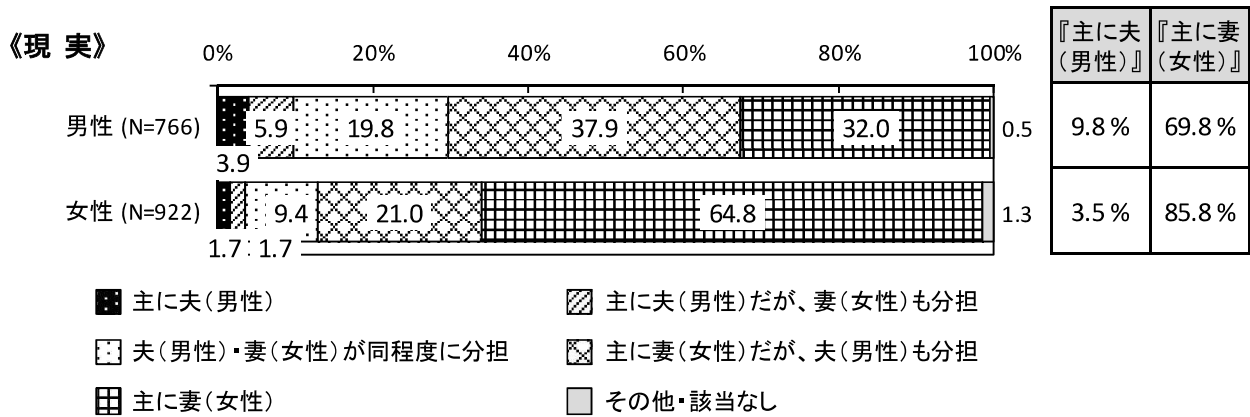
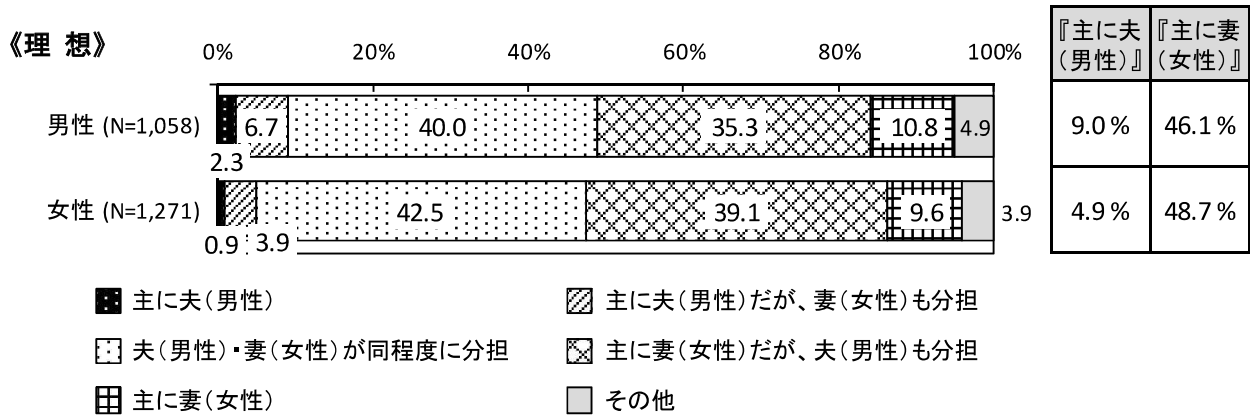


※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

【性別】（食事の後かたづけ）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は46.1%であり、女性の48.7%と比べて2.6ポイント低くなっている。

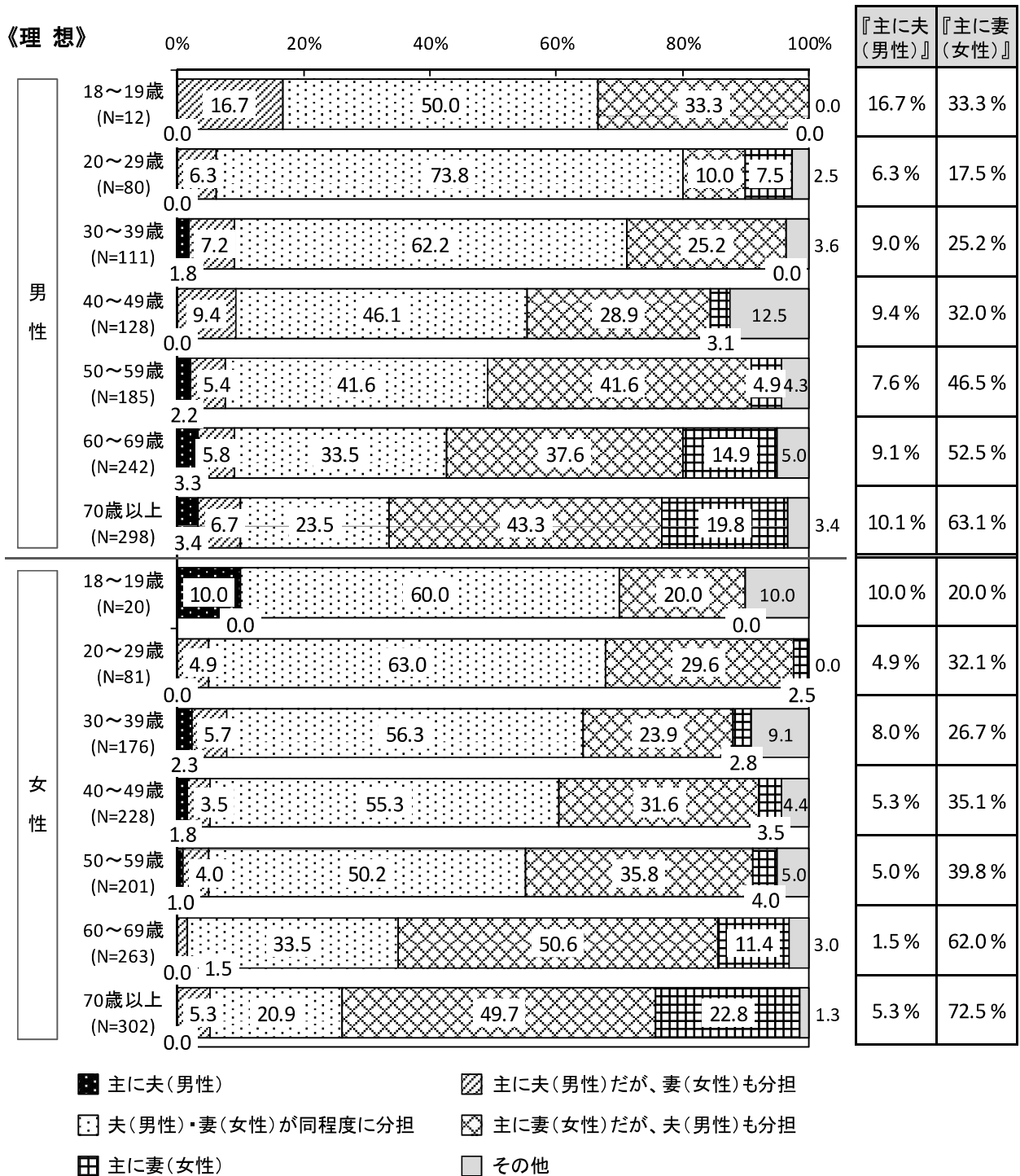
《現実》では、男性において「主に妻（女性）」が分担している割合は32.0%であり、女性の64.8%と比べて32.8ポイント低くなっており、男女差が大きい。



【性・年代別】（食事の後かたづけ）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の63.1%が最も高くなっている。18～19歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。

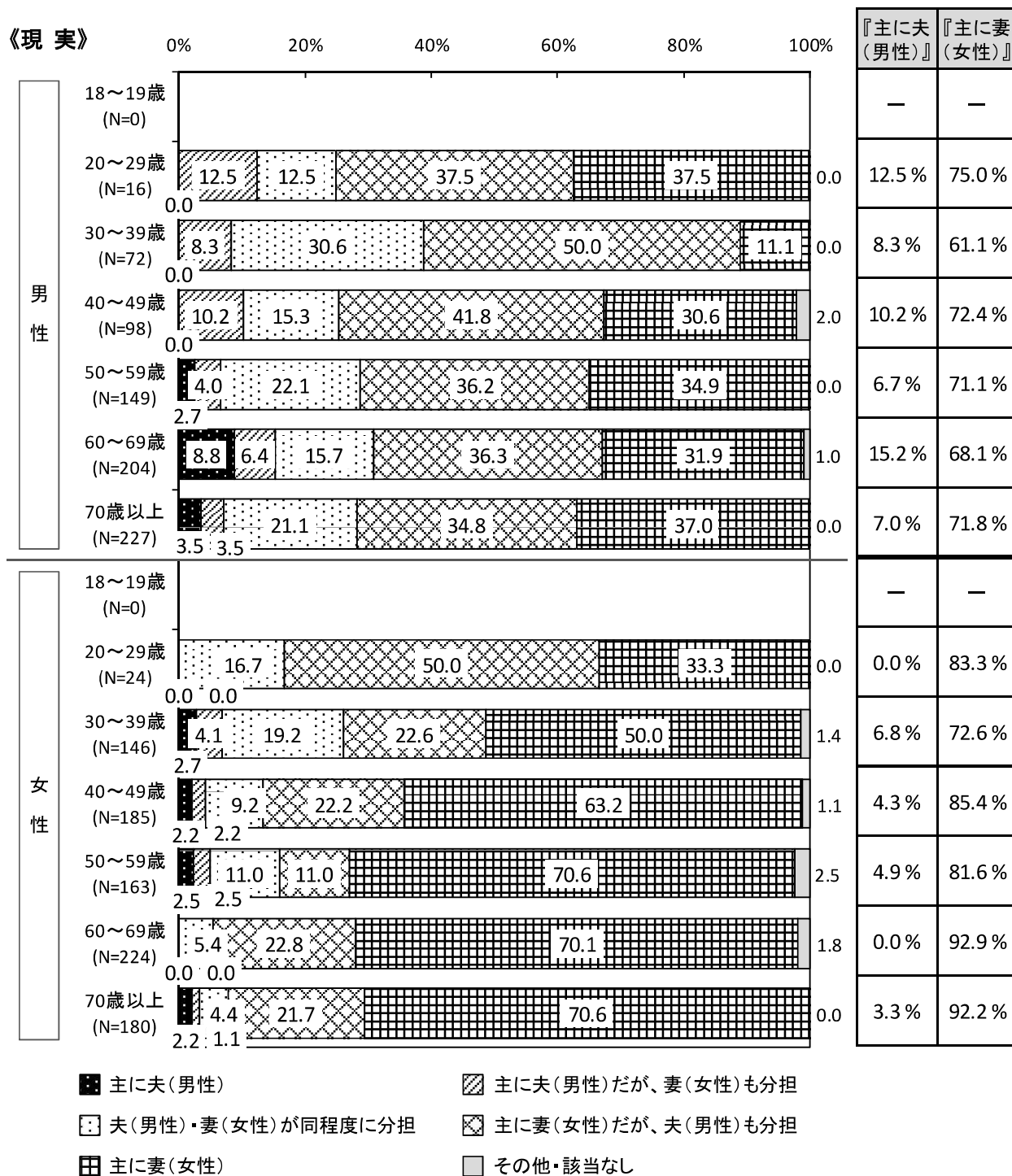
女性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の72.5%が最も高くなっている。20～29歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。



《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、30～39歳が6割程度でやや低いが、他の年代では7割前後となっている。

女性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、30～39歳では7割程度でやや低いが、他の年代では8～9割となっている。

また、60～69歳では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合が68.1%であるのに対し、女性においては92.9%となっており、男女差が大きい。

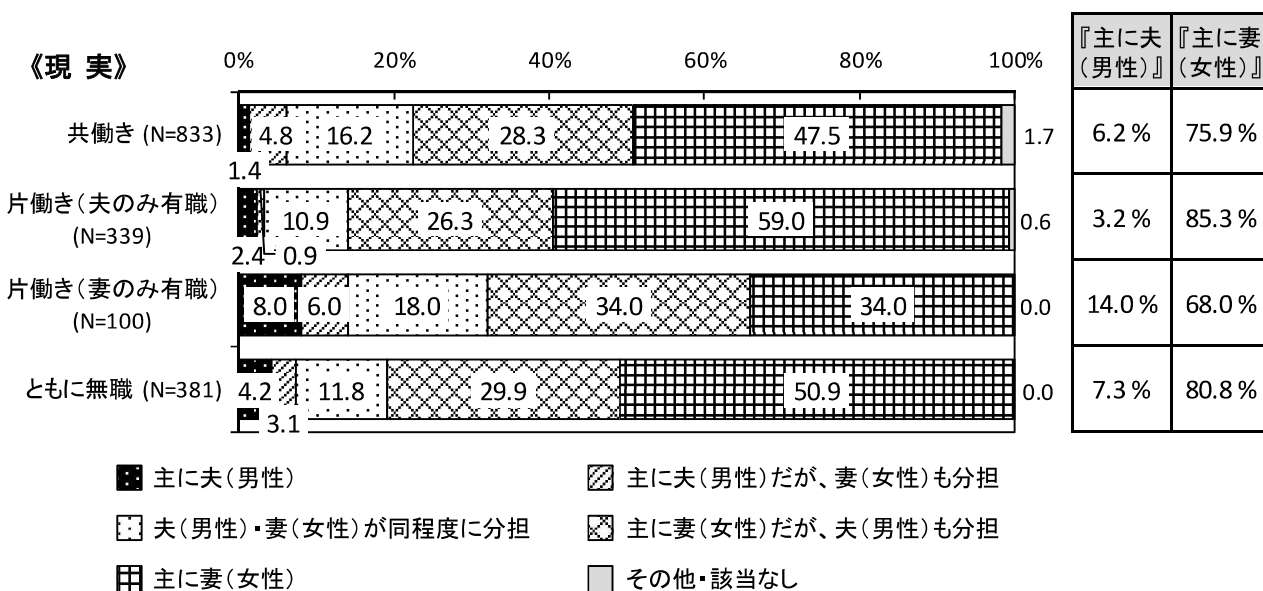
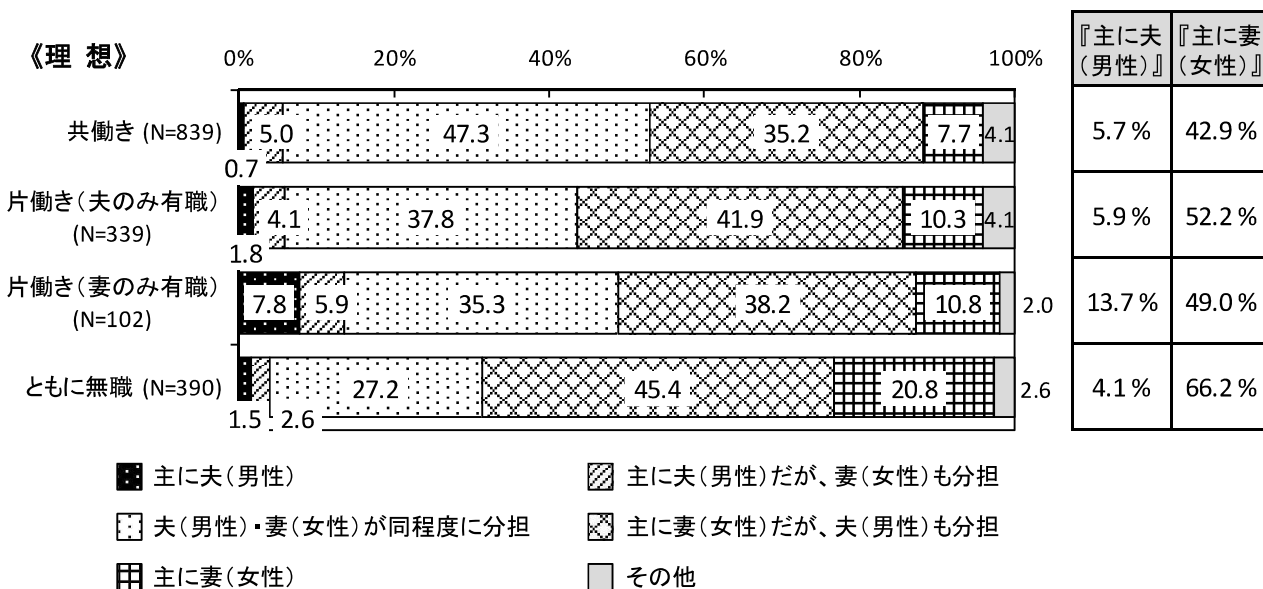


【片働き・共働き別】（食事の後かたづけ）

《理想》では、共働きは「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」（47.3%）と『主に妻（女性）』（42.9%）の役割と考える割合が同程度だが、他の働き方では『主に妻（女性）』が5～6割前後を占めている。

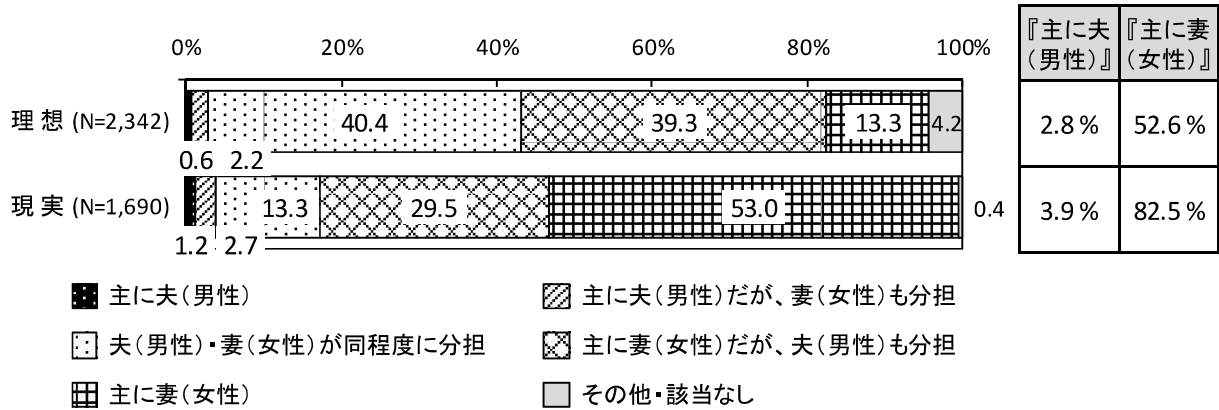
《現実》では、片働き（妻のみ有職）（68.0%）を除き『主に妻（女性）』が分担している割合が75%以上を占めている。

共働きと片働き（夫のみ有職）においては、『主に妻（女性）』の割合が《理想》と比べて《現実》の方が30ポイント以上高く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。



### ⑤掃除、洗濯

《理想》と《現実》の差をみると、「主に妻（女性）」の割合は《理想》では13.3%であるのに対し、《現実》では53.0%となっており、その差が39.7ポイントと大きく、『主に妻（女性）』の割合は《現実》（82.5%）が《理想》（52.6%）を29.9ポイント上回っている。



※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

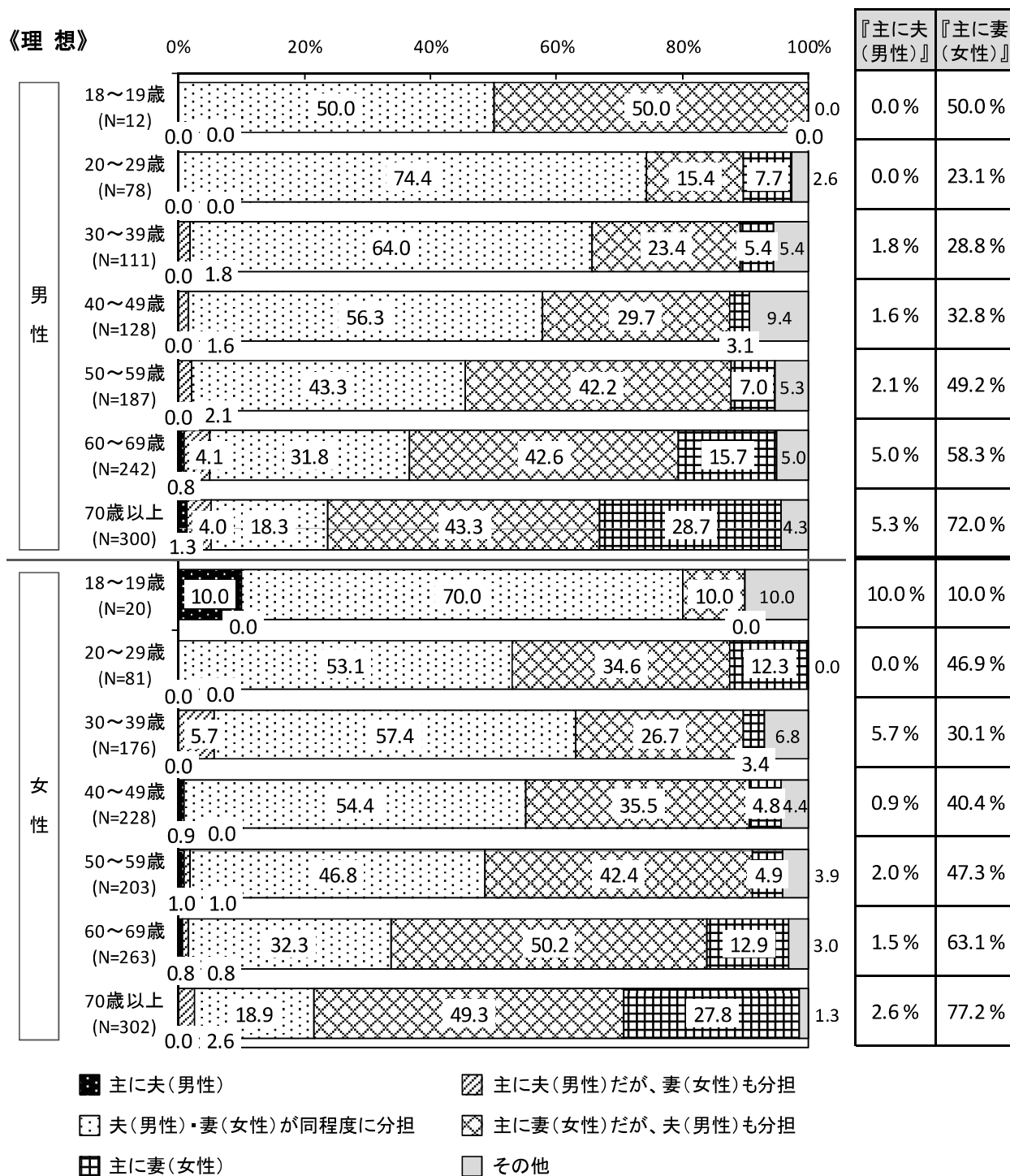




【性・年代別】（掃除、洗濯）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の72.0%が最も高くなっている。18～19歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。

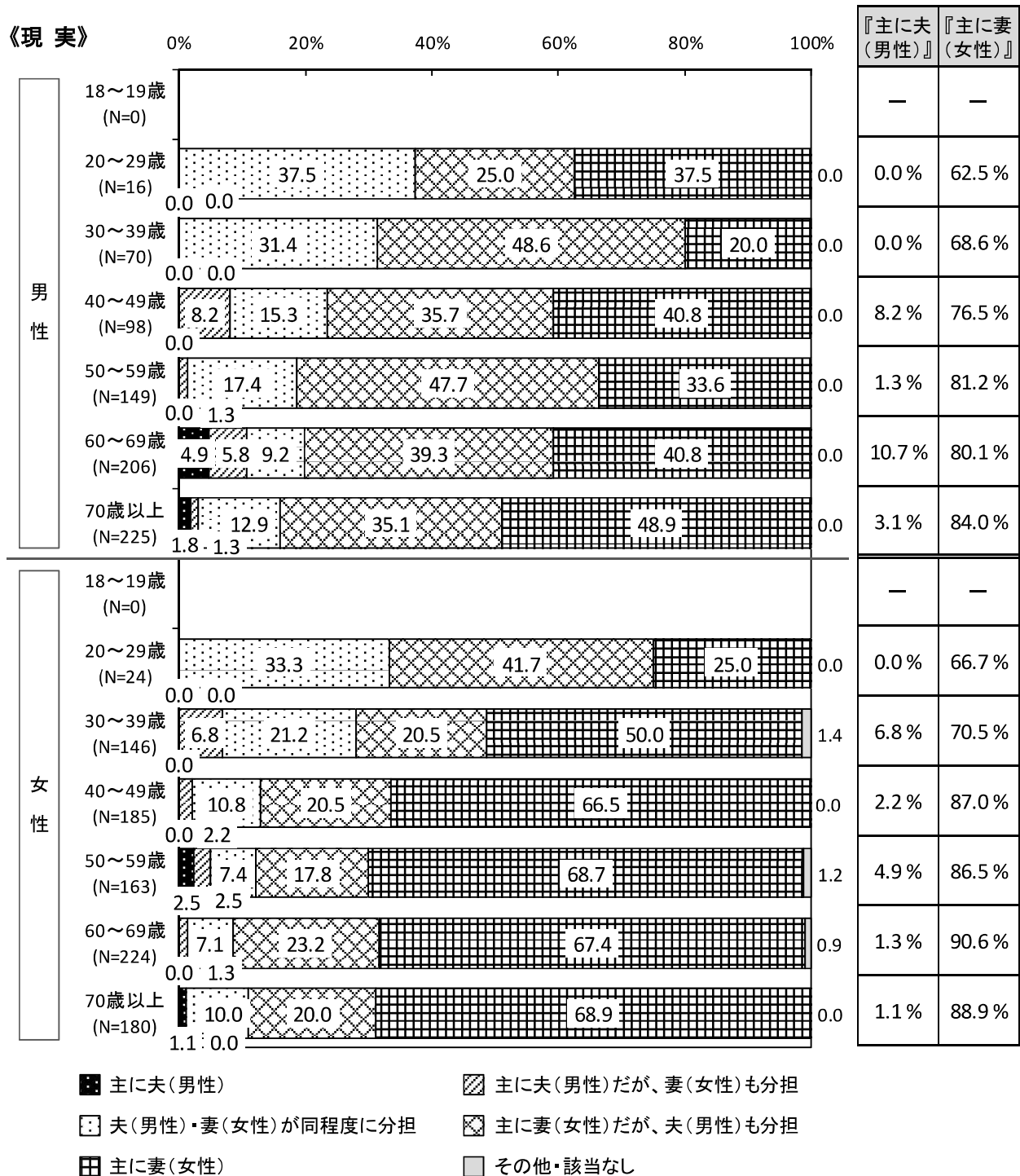
女性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の77.2%が最も高くなっている。20～29歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。



《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、70歳以上の84.0%が最も高くなっている。概ね年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなる傾向がある。

女性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、60～69歳の90.6%が最も高くなっている。

また、男性の40～49歳において『主に妻（女性）』が分担している割合は76.5%であり、女性の同年齢の87.0%と比べて10.5ポイント低くなっており、男女差が大きい。



【片働き・共働き別】（掃除、洗濯）

《理想》では、共働きは「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」（46.8%）と『主に妻（女性）』（46.5%）の役割と考える割合がほぼ同率だが、他の働き方では『主に妻（女性）』が6～7割前後を占めている。

《現実》では、片働き（妻のみ有職）（76.0%）を除き『主に妻（女性）』が分担している割合が8割以上を占めている。

共働きにおいては、『主に妻（女性）』の割合が《理想》と比べて《現実》の方が33.7ポイント高く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。

